

## 自験例の事例報告

### 1. 研究の対象

琉球大学大学院医学研究科法医学講座にて解剖をうけた方。

### 2. 研究の目的・方法

法医学・法医解剖の目的としては、死因究明や捜査協力がよく挙げられますが、これらと同様に重要なものとして、公衆衛生の向上や事故の再発防止、また他の医学分野と同様に、医学の進歩への寄与などもあります。これら多岐に渡る目的を達するため、当講座において取り扱った事例のうち、社会に還元する価値が高いと判断したものについて、時に学会や学術雑誌に事例報告を行うことがあります。

当講座で取り扱った事例について、事例報告を行う際には、対象となるご遺体およびそのご遺族・関係者について、日本法医学会の「法医学研究の発表における個人情報等の保護に関する指針」(<http://www.jslm.jp/ethic/guideline.html>)に基づき、その個人情報の保護に最大限配慮いたします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

解剖記録ならびに解剖時に実施した諸検査（組織学的検査、中毒学的検査、遺伝学的検査、生化学的検査等）の結果。事例報告の際重要と考えられる背景情報（大まかな年代や性別、既往症等）。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するお問い合わせ、また、協力を望まれない場合は、以下の問い合わせ先にお申し出下さいますようお願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

機関名：琉球大学大学院医学研究科法医学講座

住所：沖縄県西原町字上原 207 番地

電話番号：098-895-1141

メール：ninomiya@med.u-ryukyu.ac.jp

研究責任者（機関代表者）：二宮賢司

-----以上